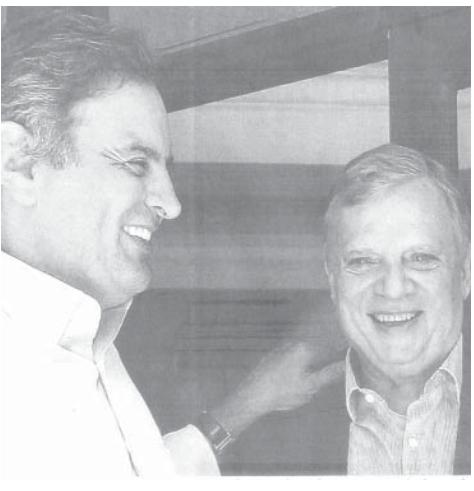


西日本伯の知事選で連立図る



アエシオ氏(左)と副候補が噂されるタッソ氏

大統領候補のアエシオ・ネーヴェス氏(民主社会党・P S D B)が、ジウマ大統領の労働者党(P T)が強い地盤を持つ北東伯での知事選で積極的な連立確立に乗り出し、P Tの地盤を切り崩そうとしている。27日付エヌエヌ・エクスプレス紙が報じている。

カンボス対策も同時に進行

が、ジウマ大統領の労働者党(P T)が強い地盤を持つ北東伯での知事選で積極的な連立確立に乗り出し、P Tの地盤を切り崩そうとしている。27日付エヌエヌ・エクスプレス紙が報じている。

9州中7州で展開か

自身の支持率の低さ解消へ

自身の支持率の低さ解消へ

ことで、大統領選での支

持を呼びかける場を増や

すことが不可欠だ。

最新のイボツピ調査で

のアエシオ氏は、自身の

支持率は北東伯では約

53%。南北



ANO XVII - Nº 4043

Nikkey Shimbun

ニッケイ新聞

SÃO PAULO, SÁBADO, 28 DE JUNHO DE 2014

VENDA em BANCA



R\$ 3,50



下本八郎氏、大いに語る

政治と経営、一足の草鞋

畏怖と尊敬集めた28年

社会の様々な分野において顕著な功績を挙げた者を表彰する『春の叙勲』が4月29日に日本政府によって発表された。下本八郎氏(78、二世)は日系議員として日系社会の地位向上に多大な貢献が認められ、旭日中綬章を受章した。しかし、同氏の日系社会に対する功績は政治活動だけではない。実業界においても日本人の美德である正直さや勤勉さを發揮し、伯国社会に「ジャボネス・ガランチード」を浸透させた一人といえる。政界、実業界での活躍を振り返りながら、コロニア、日本への思いも聞いた。



議員仲間や日系団体会長らが伝達式を祝った

シングループ創設55周年 叙勲の栄誉、将来の糧に

今を作った

両親の教育が

1935年、聖州グアラベス市で12人兄弟の8番目として生まれ、父・安市母・富栄の名に泥を塗る」と叱つた。下本氏は両親の教育を厳しく、事あるごとに「ブラジル人に迷惑をかけるな」「日本人の名を汚すな」と叱つた。下本氏は両親の教育を明治時代の教育と呼び、「両親の教育のおかげで、日本人として恥ずかしく思つた」と振り返る。

苦労重ね、会計士目指す

下本氏は両親の教育を明治時代の教育と呼び、「両親の教育のおかげで、日本人として恥ずかしく思つた」と振り返る。

改めて振り返る コロニアへの貢献

下本氏は両親の教育を明治時代の教育と呼び、「両親の教育のおかげで、日本人として恥ずかしく思つた」と振り返る。

あらた

あらた